

平成30年度長野県小学生バレーボール連盟基本運営方針

今年2月には、平昌オリンピックが開催され日本選手の活躍に私たちも勇気と感動をいただきました。目標に向かう日々の努力の積み重ねや最後まで決して諦めないその姿勢に、私たちも学ぶものがあると思います。

ボールを落とさず「つなぐ」スポーツ、決してひとりではできません。チームメートとともに力を合わせ、勇気をもってあきらめずボールを追いかけて「つなぐ」それがバレーボールです。

長野県小連は、次の事項を基本に子供たちがつなぐ楽しさを体験でき、夢・希望が持てるようにしてまいります。

1 競技人口の拡大

幼・保育園でのソフトバレー教室、4年生以下による試合等でバレーボールに関心と意欲を持たせ、普及と発展に努めます。

2 体罰、暴力、暴言、威圧等の根絶

いまだ無くならない体罰、子どもの心を傷つける暴言・威圧等旧態依然の指導者が見うけられ、非常に残念でなりません。

本来スポーツは楽しいものです、バレーボールもまさにそうです。そこに暴力・暴言・ハラスメント等が入り込む余地があってはならないのです。

将来ある小学生の夢を奪うことのないようにし、暴力や暴言など、倫理に反する行為を行うことを防止し、適切でより良い指導が行われるように努めます。